

みずほCustomer Desk Report 2020/05/14 号 (As of 2020/05/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

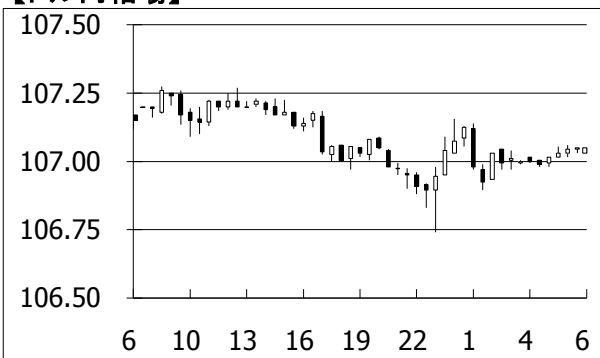
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.12
TKY 9:00AM	107.18	1.0845	116.20	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	107.27	1.0896	116.40	1.2253	0.6453
SYD-NY Low	106.74	1.0812	115.70	1.2340	0.6524
NY 5:00 PM	107.05	1.0819	115.80	1.2210	0.6439
				1.2234	0.6455
NY DOW	23,247.97	▲ 516.81	日本2年債	-0.170	0.00bp
NASDAQ	8,863.17	▲ 139.38	日本10年債	0.000	1.00bp
S&P	2,820.00	▲ 50.12	米国2年債	0.1639	▲0.19bp
日経平均	20,267.05	▲ 99.43	米国5年債	0.3186	▲0.64bp
TOPIX	1,474.69	▲ 2.03	米国10年債	0.6533	▲1.26bp
シコ日経先物	20,190.00	15.00	独10年債	-0.5315	▲2.10bp
ロンドンFT	5,904.05	▲ 90.72	英10年債	0.2060	▲4.10bp
DAX	10,542.66	▲ 276.84	豪10年債	0.9590	0.00bp
ハンセン指数	24,180.30	▲ 65.38	USDJPY 1M Vol	6.88	0.00%
上海総合	2,898.05	6.49	USDJPY 3M Vol	7.45	0.05%
NY金	1,716.40	9.60	USDJPY 6M Vol	7.96	▲0.01%
WTI	25.68	▲ 0.65	USDJPY 1M 25RR	-1.21	Yen Call Over
CRB指数	120.63	▲ 2.00	EURJPY 3M Vol	8.97	▲0.06%
ドルインデックス	100.24	0.31	EURJPY 6M Vol	9.50	▲0.03%

【昨日の指標等】

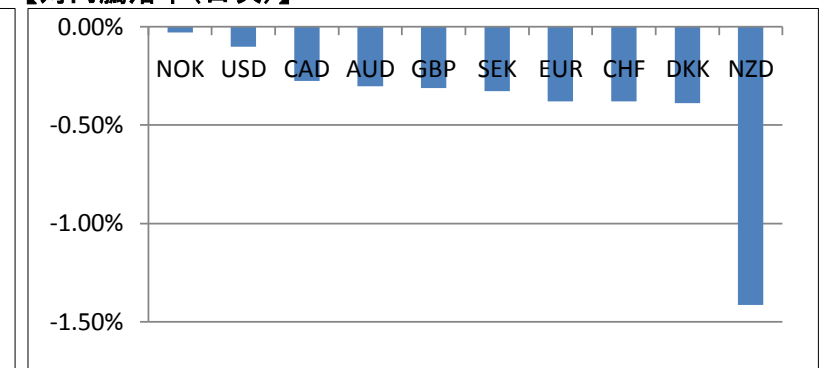
Date	Time	Event	結果	予想
5月13日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 -4.2%/-8.2%	-5.6%/-9.1%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	3月 -4.6%/-9.7%	-6.0%/-10.5%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 -11.3%/-12.9%	-12.5%/-13.6%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	4月 -1.3%/-1.2%	-0.5%/-0.4%
	22:00	米 パウエルFRB議長 講演	「マイナス金利、現時点で検討の対象ではない」	

Date	Time	Event	予想	前回
5月14日	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	4月 -575.0k/8.2%	5.9k/5.2%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	4月 0.3%/0.8%	0.3%/0.8%
	19:30	英 ベイリーBOE総裁 講演	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	25,120k
5月15日	02:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
	04:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 ポスト新型コロナは本邦に有利

4月初頭、ロックダウンという言葉がいろいろなところで聞かれるようになった頃、本邦に於ける擬似ロックダウンについて結局は為政者による経済的自殺になると書いた。今では「人工的不況」という言葉さえも聞くようになった。ただ、足許では市場と実体経済の奇妙な乖離が見られるようにも思える。その現象は特に米国で顕著であり、失業率等の数字は深刻な程悪化しているにもかかわらず、株価は不自然に持ち直しているようである。FRBが社債の買い入れを通じて企業の債務返済の支援をするとの報で投資家はパニックモードから楽観論に大きく舵を切った。市場のムードを醸成するという点ではサブプライムショック時と比べてFRBの動きは大きく素早いものであった。それは他国の中銀と比べて圧倒的なものであり、ジャンク債までを対象とする大規模な資産買い入れに動いたことが大きかったし、フリーズしていた社債市場も活況を取り戻した。中央銀行が大企業のキャッシュフローをサポートしているに等しいわけで、株式市場はそのことに敏感に反応した。一方で、中央銀行頼みで市場が維持されていると懸念を示す見方もあるが、信用収縮に陥って市場メカニズムを喪失するよりはよっぽどマシであろうと思う。

本邦はどうであろうか。敢えて指摘されることも多いが、本邦での新型コロナ死亡率は欧米に比べて驚異的に低い。BCG接種を義務づけている国の新型コロナ死亡率が低いなどという意見もあるが、死亡率を見ると確かに低いと言えよう。自粛要請により人工的不況を作ったのが政府であるのだから、それを回復させる力も政権にあるはずである。状況は米国より有利なはずであるのだから、本邦にはまだチャンスが多く潜んでいると思う。(加藤)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。